

ULTRASONICA® UE-02

■かんたんレシピ作成 パラメータ設定方法■

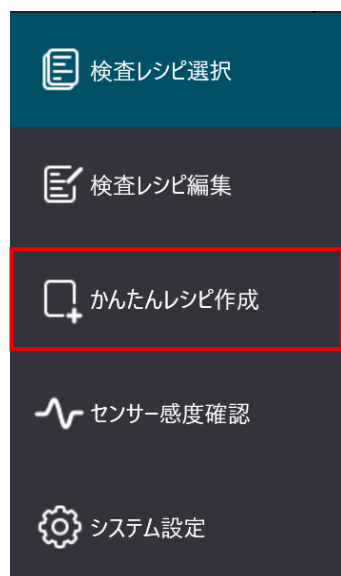
本資料では、かんたんレシピ作成機能を用いた各種検査レシピの設定方法について説明します。あらかじめ取得した検査画像をもとに、検査レシピを作成することができます。

1.かんたんレシピ作成を開く

(1) 検査停止状態(スタート待ち)を確認し、操作画面上部の[設定]タブを選択します。

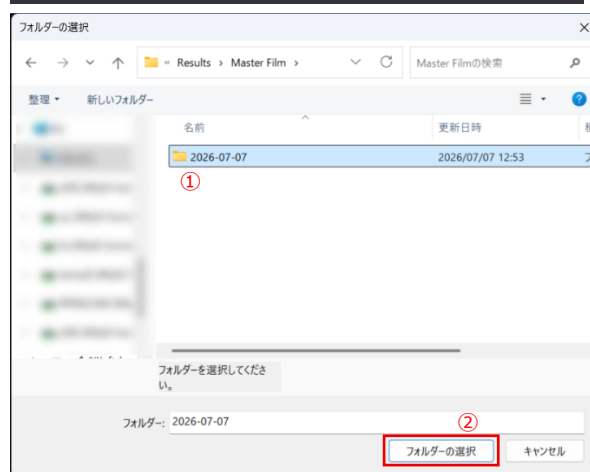


(2) 画面左側に表示される[かんたんレシピ作成]を選択します。かんたんレシピ作成の画面が開きます。



2.サンプル抽出

(1) 画面左側に、あらかじめ取得した検査画像が表示されます。表示されない場合は[変更]ボタンを押し、測定データが存在するフォルダを選択します。



(2) 取得した検査画像を選択し、良品・不良品に振り分けたのちに、[次へ]ボタンを押します。



検査レシピ/ロット番号/超音波データ数



3.判定項目選択

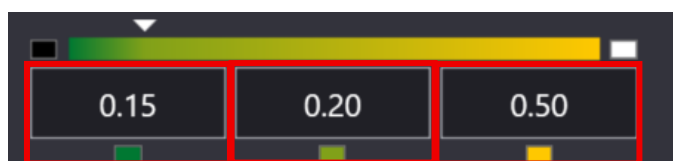
(1) 見たい不良の種類に合わせて該当する判定項目にチェックマークを付け[次へ]ボタンを押します。



4.パラメータ設定

4-1 シール幅

(1) 画面中央上部にある信号強度下限値・上限値の数値を変更し、不良箇所が不良と判定され、良好箇所が不良と判定されないようカーブを設定します。

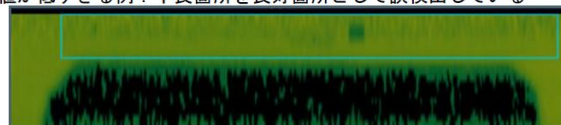


信号強度下限値
(信号強度が下回ると黒くなる。)

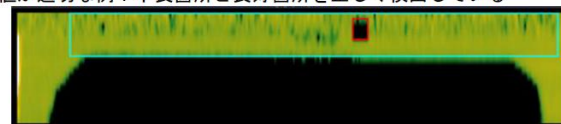
信号強度上限値
(信号強度が上回ると白くなる。)

画像全体の見え方が変わる。

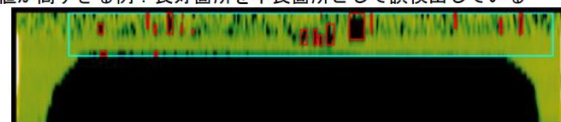
下限値が低すぎる例：不良箇所を良好箇所として誤検出している



下限値が適切な例：不良箇所と良好箇所を正しく検出している



下限値が高すぎる例：良好箇所を不良箇所として誤検出している



(2) 左上と右下の二点の座標を設定し、判定範囲を検査対象箇所に合わせて。判定範囲は対象データ画像で確認できます。(判定範囲は五箇所まで追加できます。)



(3) 検査値を確認しながら良品・不良品が適切に判定できるように値を調整し、[次へ]ボタンを押します。

シール幅の検査値がしきい値以上の場合に、良品判定になります。



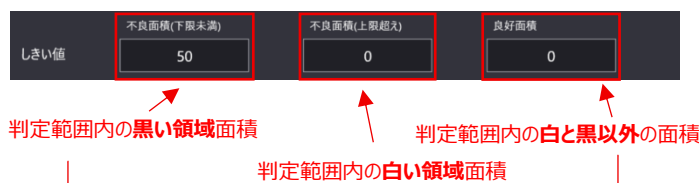
4-2 不良面積 合計・単独

- (1) 手順 4-1(1),(2)同様に、信号強度と判定範囲を設定します。
一つ前の画面に戻りたい場合は、画面右下の[戻る]ボタンを選択します。



- (2) 検査値を確認しながら良品・不良品が適切に判定できるようしきい値を調整し、[次へ]ボタンを押します。しきい値と検査値の関係が以下の場合に、良品判定になります。

不良面積下限未満	$\geq$	検査値
不良面積上限超え	$\geq$	
良好面積	$\leq$	



4-3 平均値・標準偏差値

- (1) 手順 4-1(1),(2)同様に、信号強度と判定範囲を設定します。
(2) 検査値を確認しながら良品・不良品が適切に判定できるようしきい値を調整し、[次へ]ボタンを押します。なお、平均値、標準偏差値の検査値は判定範囲内の良好箇所から算出され、不良箇所は算出に含まれません。

しきい値と検査値の関係が以下の場合に、良品判定になります。

平均値下限	$\leq$	検査値	$\leq$	平均値上限
標準偏差値下限	$\leq$		$\leq$	標準偏差値上限

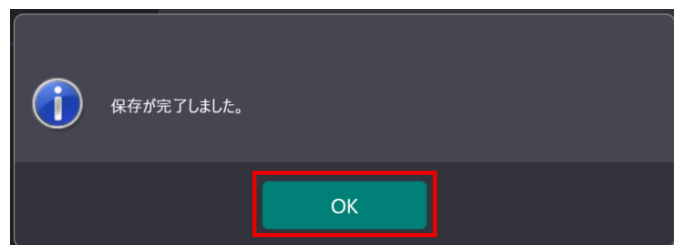


5.レシピの保存・終了

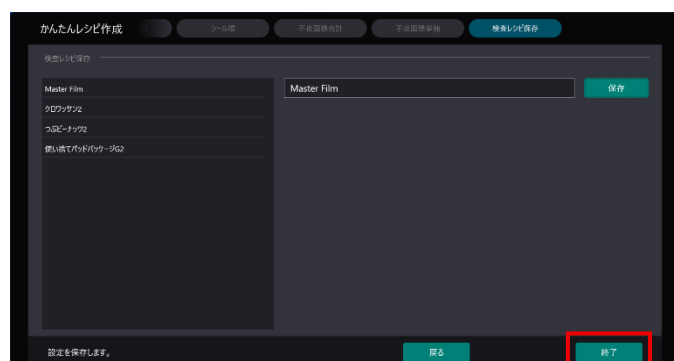
- (1) 検査レシピ保存ページでレシピ名を入力し、[保存]ボタンを押します。



- (2) レシピ保存後[OK]ボタンを押します。



- (3) [終了]ボタンを押してかんたんレシピ作成を終了します。



以上でかんたんレシピ作成による検査レシピ設定は終了です。